

養老線地域公共交通再生協議会議事概要

項目	内容
会 議 名	令和6年度養老線地域公共交通再生協議会第1回会議
と き	令和6年 4月16日（火） 10:00～12:00
と こ ろ	クインテッサホテル大垣 3階 ソーレB
出 席 者	委 員 28名 オブザーバー 2名 事 務 局 3名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 議第1号 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会事業計画（案）について 議第2号 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会収支予算（案）について 4 その他 ・養老線再構築事業の費用対効果分析（CVMアンケート調査）結果について ・養老線地域公共交通再生協議会 委員等名簿の変更（案）について ・今後の日程について 5 閉 会 【ご講演（名城大学 松本教授）】 ・養老線のこれからを考える題材として
会議内容	1 開 会 2 あいさつ 養老線地域公共交通再生協議会 会長 大垣市長 石田 仁 内容（略）

項目	内容
	3 議 題（進行：石田会長） 議第1号 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会事業計画（案）について 議第2号 令和6年度養老線地域公共交通再生協議会収支予算（案）について 資料No.1 【説明】 ・議題1号（P1～6）、議題2号（P7） 資料No.1（事務局） 4 その他 ・養老線再構築事業の費用対効果分析（CVMアンケート調査）結果について 資料No.2 ・養老線地域公共交通再生協議会 委員等名簿の変更（案）について 資料No.3 ・今後の日程について 資料No.4 【説明】 ・ 資料No.2～4（事務局） 5 閉 会 【ご講演（名城大学 松本教授）】 ・養老線のこれからを考える題材として ●協議結果 →全ての議題について、原案のとおり承認

項目	内容
	【主な発言】 ・中部運輸局 勝山交通企画課長 利用者のニーズ調査を行うということだが、利用していない方々も調査して、需要の掘起こしに利用してはどうか。 ・養老鉄道 出井部長 2月末時点の近況について、運輸成績は前年度比6.7%のプラスだが、コロナ前比11.1%のマイナスで定期外収入は順調に回復しているものの定期外の回復ペースはにぶっている。動力費は前年度より落ち着いたが、増えている。 営業利益としては7,000万円のマイナスだが、国県の補助金や近鉄の人件費補填により6,000万円のプラスとなるため、4年ぶりに支援基金へ納入する。 令和5年度の輸送障害10件のうち5件は施設設備等の老朽化が原因であったため、令和5年度から認められた社総交を有効に使い整備していく。 4/29に養老鉄道まつりを開催するが、3回目となるのでマンネリ化しないようにしたい。沿線市町にもゆるキャラとともに参加・出店いただく。 ・名城大学 松本教授 高齢者の需要は増加し、観光や昼間の移動はまだまだ増える余地がある。各自治体の広報誌での高齢者向けのPRが重要である。インバウンド需要の取込みも重要であり、県外の観光地から続いて沿線の観光地へ来てもらえるよう誘客を狙っていくと良い。 無くしてはならないという共通認識はすでに醸成されているため、次の段階としてもっと乗ってもらうために何ができるかということが重要。街の形も変えていく前提で、支えるのではなく、前向きに盛り上げていく必要がある。 ・名阪近鉄バス 谷口社長 現状、運転士の不足が大きな問題であるが、確保に努めたい。一日乗車券で定期外収入増加を狙う。この乗車券はデジタルで、いつでもどこでも購入できるため利用者の利便性の良いものとなっている。 また、「にしみのバスチャンネル」にて宣伝や観光案内などを流す取組みを行う。

項目	内容
	・ 岐阜近鉄タクシー 高橋業務部長 利用者需要は多いのに、乗務員不足で供給しきれていない。自治体には許される範囲で、広報誌などでの運転士募集の周知をお願いしたい。 ・ 西濃ブロック商工会協議会 船田事務局長 公共交通を守っていかなければ、人口衰退は著しく進み、街の衰退につながってしまうので、鉄道保存のためしっかり取組んでほしい。 ・ 大垣南高校 川瀬校長 本校の生徒の半分が大外羽駅を利用しており、養老線はなくてはならない。しかし、存在して当たり前と感じている生徒が多いので、存在の重要性について理解してもらい、ありがたみを感じてもらえるようにしたい。
会議資料	・ 席次表 ・ 会議次第 ・ 議案 資料No.1、その他 資料No.2～4 ・ 規約・名簿 ・ 講演資料